OBD2+GPS両対応 多機能メーター

取扱説明書

M-OBD-V08

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に本書を全て必ずお読みいただき、正しいお取り扱い方法でご愛用いただけますようお願い申し上げます。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましては、いかなる場合においても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

1. 安全・取り扱いに関するご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1.1. 取り付け作業をする前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1.2. 取り扱いに関して ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 構成部品 ・ 各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. 製品仕様 ・・・ 4
4. 表示項目・表示範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
5. 取り付け方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5.1. 動作確認（取り付け前に）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
5.2. 本体を取付ける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
6. 使用方法 ・・ 6
6.1. 電源を ON にする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
6.2. 電源を OFF にする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
6.3. 表示画面 ・・ 7
6.4. メインメニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
6.5. 設定内容一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
6.6. スマートフォン専用アプリ「WiiYii」について ・・・・・・・・・・・・ 11
7. よくあるご質問 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
7.1. OBD II モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
7.2. GPSモード ・・・ 13

1.　安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本製品は車両情報を表示する製品です。本製品を取り付けの前に本取扱説明書及び取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上で取り付けいただきますようお願い申し上げます。

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の 3 つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

⚠危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
⚠警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確　認	「必ず行っていただきたい事」、「必ず守っていただきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

⚠	⚠注意 (警告を含む) をしなければならない記号です。
⃠禁止	⃠は、行為を禁止する記号です。(絶対にしてはいけない事です。)
❗必要	❗は、行為を指示する記号です。(必ず行っていただくことです。)

1.1.　取り付け作業をする前に

⚠危険

⃠製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。

⃠ステアリング、ブレーキなどの運転操作に直接関係する部位付近には配線しないでください。運転の妨げによる事故の原因となり大変危険です。

❗作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因になり大変危険です。

❗シートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時 (ネジの脱着など) は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。

❗取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けないでください。誤った取り付け箇所･取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。
国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正 (平成 17 年 1 月 1 日) に従い、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

❗製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

⚠警告

⃠本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。

⃠エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。

⃠作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。

⃠乗員保護装置 (エアバッグ等) の作動に影響を及ぼす場所に取り付けないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。

⚠注意

⃠本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

⃠本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。

⃠本製品付属のハーネス以外で配線をしないでください。

⃠本製品は、水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けないでください。

⃠コードを強く引っ張らないでください。破損の原因となります。

❗車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。

❗ハーネスは点火信号や無線、HID ユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズは製品誤動作の原因となります。

❗サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品の間に置くようにして

製品が日陰になるようにしてください。

❗清掃するときは、電源を切り、眼鏡拭きやスマホクリーナーのような乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤 (ベンジン、シンナーなど)、酸・アルカリ類は使用しないでください。

⚠取り付け作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⚠車両の OBDII コネクタ部にカバーが付いている車種の場合、本製品を取り付けるとカバーが閉まらなくなることがあります。

1.2. 取り扱いに関して

⚠警告

⃠走行中は安全のため本製品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。

⃠「表示がでない」などの故障状態や、「水などがかかった」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。

❗取り付け後も定期的に点検を実施し、十分注意してご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。

❗本製品を長期間使用しないときは車両から外してください。

❗廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

❗操作は車を停止して行ってください。

❗製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。

⚠注意

⚠本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

⚠本製品は照明に高輝度 LED を使用しています。LED 生産上の公差による多少の色味の違いが発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。

⚠アイドリングストップ車の場合、アイドリングストップ時のバッテリー電圧の降下によりエンジン始動復帰時に製品の電源がオフ / オンする場合がありますが、製品の異常ではありません。

⚠本製品は製品改良のため予告なく本体ソフトウェアをバージョンアップすることがあります。そのため本書と製品の内容が若干異なる場合があります。

※本製品を取付けての違法行為（スピード違反など）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

2．構成部品 ・ 各部名称

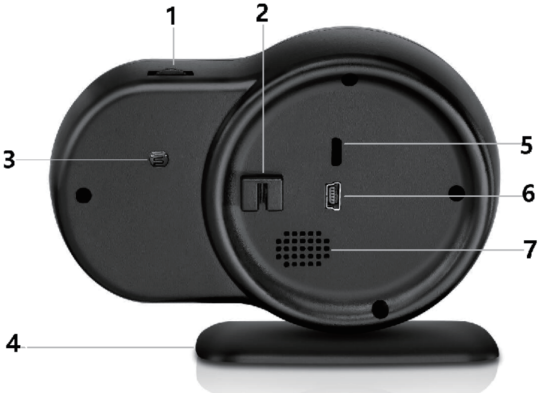
本体

吸盤式スタンド

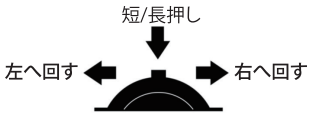
USB接続ケーブル

OBD接続ケーブル

滑り止めシート



1 ： 操作スイッチボタン
2 ： スタンド接続部
3 ： 調光センサー
4 ： 滑り止めシート
5 ： 使用しません
6 ： 電源入力ポート (miniUSB)
7：スピーカー



操作スイッチボタン

3. 製品仕様

保存温度範囲	-20℃ ～ +80℃
使用温度範囲	-20℃ ～ +60℃
動作電圧範囲	11V～18V (DC24V車でご利用の場合はUSBケーブル接続のみ)
消費電流	200mA、OBD接続時の暗電流 ： 20mA （長時間運転をしないときは必ず電源をお切りいただき、OBD II 接続ケーブルを抜いてください。または、USB接続ケーブルで接続してください。）

4.　表示項目・表示範囲

項目	信号の入力		表示値・単位	
	OBD II	GPS	下限値～上限値	単位
SPEED /車速	○	○	0～280	km/h
TURBO /ターボ	○	ー	-1.00～3.00	x100kPa
RPM /エンジン回転数	○	ー	0～8000	RPM
FUE /燃費	○	ー	0.0～50.0	L/100㎞
MIN /運転時間	○	○	0.00～24:00	MIN
DIS /走行距離	○	○	0～1000000	km
MAP 吸気圧	○	ー	0～100	x10kPa
OIT /油温	○	ー	0～150	℃
ECT /水温	○	ー	0～200	℃
A/F 空燃比	○	ー	0～100	%
TCP /タービン比	○	ー	0～100	%
VLT /電圧	○	○	4.0～19.0	V
PSI /ブースト圧	○	ー	-100～0	In.Hg
RTC /GPS時計	ー	○	0.00～24:00	ー
ALS /標高	ー	○	0～9999	m
GPS / 衛星数	ー	○	0～100	ー
DIR /走行方向	ー	○	N/S/W/E	ー
KM/L キロメートル・パー・リッター	○	ー	0～100	ー

・取得した信号が表の下限値以下の場合は下限値、上限値以上の場合は上限値を表示します。

5. 取り付け方法

5.1. 動作確認（取り付け前に）

取り付けの注意をご確認いただき、必ず本機を車両に仮取付けて動作確認をしてください。

・DC24V車に取り付ける場合は、付属のUSBケーブルを使用してください。
　また、信号入力先を「GPS」に切り替えてください。

5.2. 本体を取付ける

1. 本体底面に両面テープまたは滑り止めシートを貼付けます。
2. 濡れたタオルなどでダッシュボードを拭き、きれいにしてから本体を固定します。
3. 車のOBD II 端子と本機器を付属のケーブルで接続した後、しばらくお待ちください。サーチを行った後、電源が入ります。

・ 車両の機能(エアバッグや運転支援システムなど)に影響のない場所に 取付けてください。
・ 本体上方向、前方向に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。
・ 液晶の特性上、本体を取付ける場所や角度によってはディスプレイ が見えにくくなる場合があります。
　ディスプレイが視界の正面になると一 番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面に なるように本体を取付けてください。

6. 使用方法

6.1. 電源を ON にする

車のエンジンを始動（ACCをON）すると自動的に起動します。
起動後に、システム言語（英語/中国語）・信号入力モード（OBD II /GPS）の初期設定画面が表示されます。操作スイッチボタンを横方向へ操作して選択肢を切り換えます。操作スイッチボタンを短押して設定が保存されます。
設定完了後、もしくは 5 秒間操作しない場合はに最後に設定された項目でメーター情報表示画面へ移行します。

6.2. 電源を OFF にする

車両のエンジンを停止（ACCをOFF）すると、自動的に停止します。
また通電時に電源ボタンを操作してON/OFF切替もできます。

6.3.　表示画面

⚠ 注意
運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。 必ず同乗者が操作を行なってください。 画面を強く押したり、先の鋭いもので押さないでください。 表示パネルが割れて、ケガの原因となります。

メーター情報表示画面を6種類の表示モードから、各表示モードごとに
お好みの項目を切り替えることができます。

【画面表示（例）】

【表示モード切替え方法】

メーター情報画面表示中に操作スイッチボタンを短押しして表示モードを
6パターンに切り替わります。

【画面構成（例）】

表示モード画面は「メインエリア」と「表示項目エリア」で構成されます。
「表示項目エリア」の情報項目を変更することが出来ます。

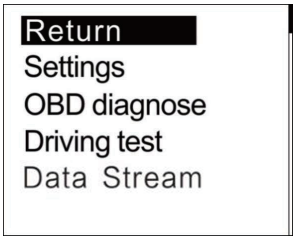
【表示項目エリアの表示内容を切替える】

各表示モードにおいて操作スイッチボタンを横方向（左右）操作で情報表示エリア
の表示内容を切り替えることができます。

6.4.　メインメニュー

操作スイッチボタンを長押してメインメニューに入ります。

【メインメニュー画面】



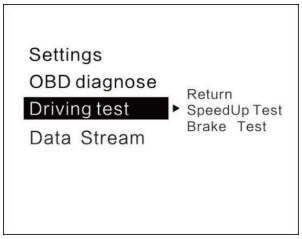
→戻る
→設定
→OBD2 診断（ボタン短押し：エラー消去）
→性能テスト
→全データ表示

【メニューモード操作方法】

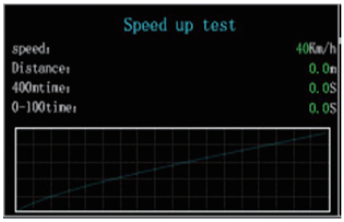
メーターモード中に

操作スイッチボタンを横方面（左右）へ操作する	次への項目・選択肢へ
操作スイッチボタンボタンを短押しする	選んだ内容を確定する
操作スイッチボタンボタンを長押しする	メニューモードを終了する

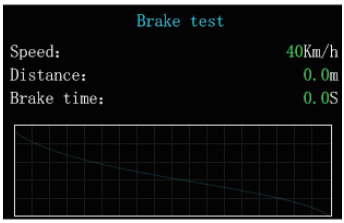
【性能テスト】



→戻る
→スピードアップテスト
→ブレーキテスト



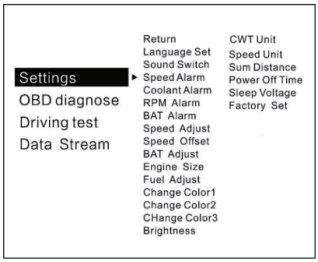
SpeedUp Test：速度が100km/hに到達するまでの各種データを表示します。
・Speed：現在の速度を表示します。
・Distance：速度が100km/hになるまでに走行した距離です。
・400m time：400mまで走るのにかかった時間です。
・0-100time：100km/hに到達するまでにかかった時間です。



Brake Test：速度が100km/hを超えたときにブレーキをかけると、ブレーキの距離と時間が表示されます。
・Speed：現在の速度を表示します。
・Distance：速度が0km/hになるまでに走行した距離です。
・Over-time：速度が0km/hになるまでにかかった時間です。

6.5.　設定内容一覧

メインメニュー → 【Setting】を選択し、
各種設定を行います。



項目	内容（初期値）	選択肢
Return （戻る）	メインメニューへ戻る。 （ー）	ー
Language Set （言語）	システム言語を設定する。 （EN:英語）	CN：中国語/TW:中国語/EN:英語
Sound Switch （操作音）	ボタン操作音をON/OFFにする。 （ON）	ON/OFF
Speed Alarm （スピード警告）	超過すると警告音で案内する。 （150㎞/h）	5km/h～200㎞/h
Coolant Alarm （エンジン温度警告）	超過すると警告音で案内する。 （120°）	5°～200°
PRM Alarm （回転数警告）	超過すると警告音で案内する。 （6000R/min）	1000R/min～8000R/min
BAT Alarm （電圧警告）	低下すると警告音で案内する。 （10.5V）	10V～15V
Speed Adjust （スピード調整）	純正メーターの数値に合わせる。 （107%）	50%～150%
Speed Offset （停止スピード調整）	停止速度を調整する。 （2km/h）	0km/h～10km/h
BAT Adjust （電圧調整）	電圧測定の精度を調整する。 （100%）	50%～150%
Engine Size （排気量）	エンジンの排気量を設定する。 （1.6L）	0.5L（500cc）～10L（10000cc）
Fuel Adjust （燃費調整）	燃費の精度を調整する。 （100%）	20%～500%
Change Color1 （表示カラー1調整）	項目表示1の色を調整する。 （白）	白/赤/橙/黄/緑/藍/青/紫

項目	内容（初期値）	選択肢
Change Color2 （表示カラー2調整）	項目表示2の色を調整する。 （赤）	赤/橙/黄/緑/藍/青/紫/白
Change Color3 （表示カラー3調整）	項目表示3の色を調整する。 （緑）	緑/藍/青/紫/白/赤/橙/黄
Brightness （輝度）	バックライトの輝度を調整する。 （AUTO）	1～8/AUTO
CWT Unit （温度単位）	温度の単位を設定する。 （°C）	°C/°F
Speed Unit （速度単位）	スピードの単位を設定する。 （km/h）	50%～150%
Sum Distance （合計走行距離）	走行総距離ODOを設定する。 （0km）	0km～900000km
Power Off Time （パワーオフ時間）	電源OFFのタイマーを設定する。 （10s）	5s～300s
Sleep Voltage （保護電圧設定）	エンジン回転数単位を設定する。 （PRM）	RPM/COM/11V～15V
Time Adjust （時刻の設定）	日本標準時。 （GMT＋9）	※+/- 短押すことに、 +/- 30分調整
Factory Set （設定初期化）	すべての設定をリセットする。 （ー）	ー

6.6.　スマートフォン専用アプリ「WiiYii」について

専用アプリ「WiiYii」を使用し、スマートフォンと本機をBluetooth接続することにより、アプリ側で設定されたルート案内情報が本機で表示されることができます。

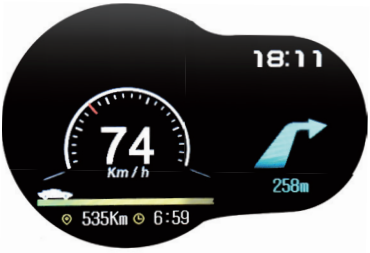
※ 接続するスマートフォンの機種によっては、アプリ表示画面が異なる場合があります。あらかじめご了承 ください。
※ 以下の仕様を満たしたスマートフォン等で専用アプリを使用することができます。
　iOS：Iphone5以降
　Android：4.0以上（Google Play対応要）

1. 専用アプリをインストールする
専用アプリ「WiiYii」をスマートフォンにインストールします。
Google Play検索:　WiiYii
APP Store検索：WiiYii
もしくは下記のQRコードを読み取ってください。

WiiYii android　　WiiYii iPhone

2. お使いのスマートフォンを本機のBluetoothに接続する
お使いのスマートフォンのBluetoothをONにした上に、専用アプリ「WiiYii」のアイコンにタッチすると自動的に本機と接続します。（本機のBluetooth ID：WYHUD）

3. アプリ側でルート案内開始する
アプリにてルート案内開始したら、ルート案内終了まで本機はルート案内専用画面へ移行します。



7. よくあるご質問

7.1. OBDⅡモード

症状	考えられる原因	対処方法
○画面が起動しない。 ○電源が入らない。	○OBD2適応車種ではない。適応車種にはエンジンルームにOBD2認証ステッカーが添付されております。 ○エレクトロタップのロックが閉まっていない、または接触不良を起こしている。	○OBD II 認証のないお車にはUSBケーブル接続でGPSモードが利用可能です。 ○エレクトロタップの配線部分を確認してください。
○エンジン停止後に自動的に電源オフしない。	○ バッテリー電圧が高い。 ○ ハイブリッド車でのご利用。	○【保護電圧】設定を13.2Vまたは13.6vに設定してください。 ○【パワーオフ時間】を「COM」にください。
○周囲の明るさが変わっているのに表示の明るさが変わらない。	○調光設定が手動になっている。	○調光設定を変更してください。
○USBケーブル接続で画面が起動しない。	○ 適切な USB ケーブルを使用していない。	○ケーブルがきちんと挿入されているか、また本体の電源をONにしたかご確認ください。
○純正メーターより車速の表示値が少し低い。	○純正メーターの車速表示は実際より最大で 10% 程度高い場合がある。	○【スピード調整】設定で純正メーターとの差を最小限に調整してください。
○ 停車中に電源オフする。	○アンドリングストップ動作でACC電圧低下、停止。	○【パワーオフ時間】を「COM」、もしくは【180～300秒】に設定してください。
○明るい場所で見づらい。 ○画面が2重に見える	○製品の特性上、強い光源がある場合に見づらくなったり、見えなくなったりする。 ○製品の特性上、ゴーストと呼ばれる2重に見える現象が発生する。	○異常ではありません。 ○本機器の明るさを弱めることにより軽減します。

7.2. GPSモード

症状	考えられる原因	対処方法
○動作しない。 ○電源が入らない。	○電源入力先が通電されていない。	○他のDC5V電源と接続して、再度確認ください。
○スピードが表示されない。	○ GPSの測位中。	○表示されるまで、広い道路へ移動してください。 5個以上のGPS信号を受信すると表示されます。
○走行方向が誤って表示される。	○ GPSの測位中。	○車速が5KM/Hを超えると正常に表示されます。
○駐車中にも1km/h以上の車速が表示する。	○ GPSの測位誤差。	○【停止スピード調整】設定で停止速度を調整してください。
○純正メーターより車速の表示値が少し低い。	○純正メーターの車速表示は実際より最大で 10% 程度高い場合がある。	○【スピード調整】設定で純正メーターとの差を最小限に調整してください。
○ 時間表示が正しくない。	○日本用のタイムゾーン（時差＋9時間）で設定されていない。	○【時刻の設定】設定で表示時間を調整してください。

M-OBD-V08_20200708